

主題名 社会の秩序と規律を守る (教材名「二通の手紙」)

第3学年 C-(10) 遵法精神、公德心

◆本実践の概要

生徒にとって事前アンケートの結果によると、「きまり」は大切に、守った方がよいというイメージをもつ生徒の割合が多いことが分かった。しかし、一方で「変えた方がいいのではないか」と思うことや、「状況によって守らなくてもしかたがない」と思うなどの意見が出された。「きまり」がなぜ存在するのか、「きまり」が周りとのどのように関わっているのか、「きまり」の意義を生徒自らが考え、ICT を活用しながら意見をつないだり、ひろげたりできる学びを期待した。

1 ねらい

元さんの思いを考えるを通して、法やきまりの意義に気づき、自らの義務を果たすことでよりよい社会をつくらうとする態度を育てる。

2 教材について

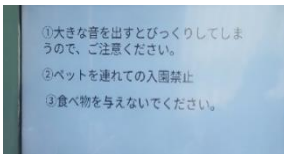
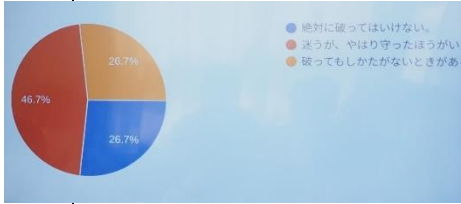
本教材は、幼い姉弟のために規則を破って動物園に入園させた元さんの話を通して、法やきまりを守ることの意義は何かというねらいに迫るものである。規則か思いやりかの選択肢の狭間で、何のために規則があるのかを深く考えさせたい。

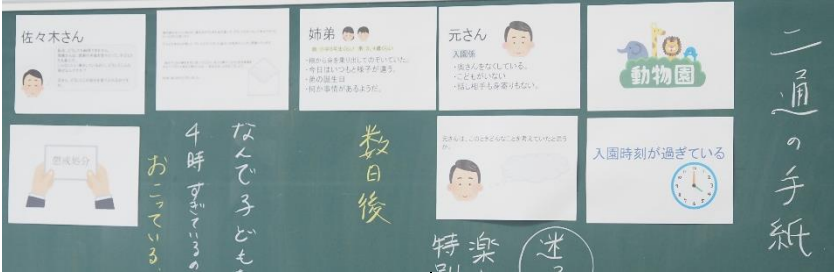

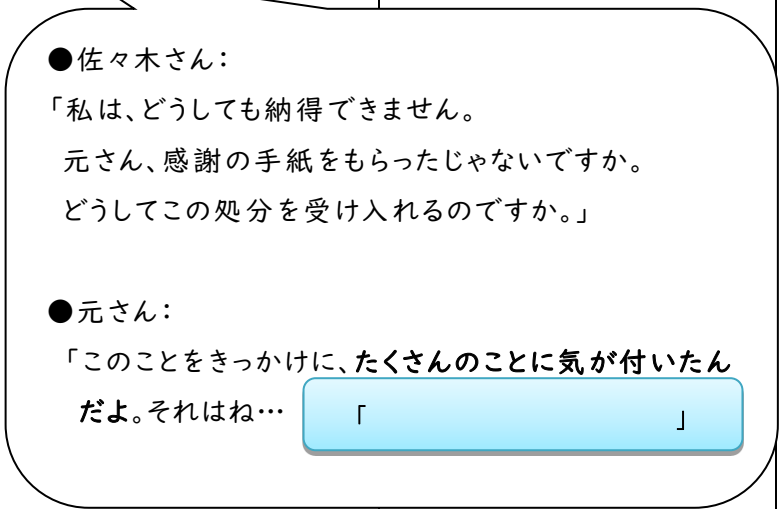
3 生徒の実態

男子14名、女子21名の35名のクラスである。基本的に目の前のことに対して真面目に一生懸命取り組むことができる集団であり、「きまり」については、遵守しようという意識が見られる。しかし、時には楽しさや集団に流されてしまう状況も見られ、なぜ「きまり」が存在するのかなどについて、周りの人との関わりや様々な状況のなかで「きまり」の意義を考える必要性を感じる。

道徳の授業に限らず、自己表現に対して苦手意識を持っている生徒が多く、人前で自分の考えを述べたりすることに躊躇してしまう様子が見られる。グループや ICT での意見交換などを効果的に活用し、生徒の意見をつないだり、ひろげたりできるようにしながら授業を作っていきたいと考えた。

4 本時の実際

	学習活動と主な発問	児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>○身の回りの「規則やきまり」を提示し、場所を当てるクイズを行う。</p>  <p>○事前にとったアンケート結果を提示する。</p>	<p>①美術館 ②水族館 ③動物園</p> <p>・「規則・きまり」についてどんなイメージをもっているのかを全体で共有する。</p>	<p>・興味関心を引きつける工夫</p>  <p>◆大型モニターに提示 全体の意識を「規則・きまり」にもっていく。</p>

	<p>○事前に読んでいる『二通の手紙』のおおまかな内容を確認。(板書使用)</p> 	<p>・登場人物や状況を捉え、教材を理解する。</p>	<p>・黒板に登場人物のイラストを貼り、整理しながら確認することで、生徒が理解しやすいように工夫する。(板書の工夫)</p>
<p>展開</p>	<p>◎発問① 「姉弟を園に入れた元さんはこのときに、どんなことを考えていたと思うか。」</p>  <p>◎発問② 「元さんは母親から他にどんな手紙を受け取る可能性があると思うか。」</p>	<p><個人→ペアで考える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉弟の思いを叶えてあげたい。今日だけ特別。 ・いつも来ていた姉弟の願いを聞いてあげたい。 ・規則を破ってしまったな…。 ・入れてあげるか「迷った」。 <p><個人→ペアで考える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、姉弟がけがをしてしまっていたら… ・池に落ちてしまっていたら… ・など「抗議」の手紙になるかもしれない状況を考える。 	<p>・ペアでの形態にすることで自分の意見を伝えるとともに、友達の意見も聞きながら意見交流ができる時間とする。</p> <p>・元さんの「思いやり」の気持ちにも触れる。</p> <p>・「感謝」ではなく、違う立場や状況などから考え、物事を見られるようにする。</p>
<p>展開</p>	<p>ロールプレイ</p> <p>佐々木さんの問いに対して、懲戒処分の通知をにぎりしめた元さんの思いを考える。</p> <p>①ペアでやりとりをする前に、自分の考えをまとめる。</p> <p>②ペアになって、佐々木さんと元さんの役になって、考えた元さんの気持ちを伝える。</p>	<p>資料1</p>	 <p>●佐々木さん： 「私は、どうしても納得できません。元さん、感謝の手紙をもらったじゃないですか。どうしてこの処分を受け入れるのですか。」</p> <p>●元さん： 「このことをきっかけに、たくさんのことに気が付いたんだよ。それはね… 「 」」</p>

終末	◎中心発問 「①世の中にはなぜ「きまり」があると思うか。」 「②規則やきまりにはどんな思いがこめられていると思うか。」	・ICTのスライド機能を使用して班のスライドに意見を記入して、全体で意見の共有を行う。	◆意見を可視化し、多くの意見を知ることができるようにする。
	「本時の授業を通して考えたことや感じたこと」を記入して終える。(OPPシート)	「本時の授業を通して考えたことや感じたこと」を記入する。(OPPシート)	・自分自身の生活につなげて考えることができたか。(OPPシートへの記述)

資料1 元さんが佐々木さんに伝えたことを考える。(元さんが学んだたくさんのこととは…)

【ロールプレイを通して生徒から出された意見】

- ・それが正しい行いだったとしても、園の規則を破って、もし事故などにもあつたりしたら、それは自分の責任だけではどうしようもできず、たくさんの人に迷惑をかけることになってしまうこと。
- ・規則を破ってしまったら、その分、重い責任や危険性がついてくるんだよ。その裏で起こりうることをしっかり考えなければいけなかった。
- ・どんな理由でもルールは破ってはいけない。
- ・子どものためと思ってしたことでも万が一事故があつたら自分だけでなく、動物園全体に迷惑がかかってしまう。どんなに家族や本人たちが喜んでくれたとしても事故が起きてしまえば全ての行動が無意味になってしまう。
- ・責任がとれないのに感情だけで子どもを入れてしまったこと。
- ・規則を破ることの重大さ。
- ・自分の気持ち(姉弟をかわいそうに思う気持ち)だけで行動をとると、事故につながる恐れがあること。

5 評価の視点

- ①法やきまりの意義や必要性について、他者と考えを交流する中で考えを深めているか。(発言、ワークシート、OPPシート)
- ②元さんのとつた行動に対し、様々な道徳的価値と関連させて考えているか。(発言、ワークシート、OPPシート)

6 実践を振り返って

成果

- ・導入で「きまり」に関するクイズを行うことで、発言しやすい雰囲気作りをするとともに、本時の課題である「きまり」について生徒の意識を向けさせることができた。
- ・道徳では目の前にいる生徒の実態がとても大切なので、アンケートを活用することで、その実態を把握することができ、授業に生かすことができたのでよかった。

- ・考える形態を工夫することで、生徒が発言しやすい雰囲気を作ることができた。個人、ペア、クラス全体という形態でより多くの考えや意見を共有できるようにした。
- ・クラス全体での意見の共有を、1人1台端末を使用してできたことがよかった。

課題

- ・スライドで中心発問を提示してしまったので、視覚的にも前の黒板に残るように板書の工夫を行いたい。
- ・生徒の意見を全体で共有した際に、同じ意見の人を挙手させたが、異なる意見についてさらに問いかけてみるなど、一つ的话题をもう少し掘り下げて、全体で深く考えられたらよかったと思った。
- ・クラス全体での意見の共有を、1人1台端末を使用してできたことがよかったが、一気にスライドに書いたことにより、授業者の推測だが、周りの意見に同調しなければいけないのではないかと、みんなが見ているので人と違うことは書きにくいなどの理由から同じ意見や考え(表現)になってしまったので、共有の仕方や意見の発表方法、そして深め方についてさらに考えていきたい。

<今後に向けて>

学習指導要領には次のように書かれている。

遵法精神、公德心

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

また、「高等学校段階への発展を踏まえて、自分たちを拘束すると感じる法やきまりが自分たちを守るだけではなく、自分たちの社会を安定的なものにしていることを考えさせ、よりよいものに変えていこうとするなど、積極的に法やきまりに関わろうとする意欲や態度を育てる」ということも書かれている。本時の授業を通して、「きまり」が「自分たちの社会を安定的なものにしていることを考えさせる」ことができたので、今後の授業としては、上記後半部分の「よりよいものに変えていこうとするなど、積極的に法やきまりに関わろうとする意欲や態度を育てる」ことにつながる道徳の授業を作っていきたいと考えている。